

海外産業人材育成協会（AOTS）の制度を活用した 海外拠点への基礎技能教育活動のお知らせ

当社の国内マザー工場である稲沢事業所は、生産性向上によるコスト競争力の強化を目的として、海外の製造拠点に対して、生産性向上に係る基礎技能教育を行っております。

この度、タイ（コラート）工場を対象として計画した社内教育プログラム「製造現場改善のためのTIEの基礎講習（オンライン）」が、海外産業人材育成協会(AOTS)の海外研修事業（※）として承認され、国庫の補助を受け、2回/月、5カ月間に渡り、教育活動を行いました。

また、この取組みが評価され、AOTSが経済産業省へ提出する「事業評価報告書」にも、活動事例として掲載されました。

今後もこのような制度を活用し、グループ全体の基礎技能向上と生産性向上によるコスト競争力の強化に努めてまいります。

（※）開発途上国の産業技術水準向上や経済発展を図ることを目的としており、国庫補助金の適用を受けて、日本企業が持つ固有技術を現地へ移転するための教育活動を支援しております。

一般財団法人 海外産業人材育成協会（AOTS）

事業評価報告書

2023年度 技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣・寄附講座開設事業）

案件事業型（通常型・オンライン）事例2：製造現場改善のためのTIE(Total Industrial Engineering)の基礎講習
①実施場所
タイ(コラート)

②研修の背景
2018年～2019年に当社工場にて製造工程改善活動が開催され、この際に関与した知識やノウハウを全製造拠点に展開していくという会社方針が掲げられた。国内・海外双方の製造拠点に対し改善活動を通じて「製造現場能力」向上を目的として、毎年定期活動を展開していくこととした。2020年～2022年の間はコロナ禍で停滞していたが、今年度から本格的に活動を再開した。

コラート工場は、カメラ・プリンター等向け部品の製造、自動車向け部品等を製造し、またプラスチック部品等の製造（射出成形）、塗装、印刷、コーティング、組立等、製造工程も多岐にわたる。現地工場スタッフにTIE（製造現場改善の考え方やその改善手法）の基礎知識を習得させ、現地工場における自主的な製造工程改善活動を促進するためのオンライン研修を、月2回のペースで実施する。

③研修内容

1カ月目	1日目	【講義】改善を進めるにあたって/OVAS法
	2日目	【講義】【講義】生産のしくみ ～改善が必要となる訳を考える～
2カ月目	3日目	【講義】標準作業タイプ1① ～一人の動作を理解する～
	4日目	【講義】標準作業タイプ1② ～最適な作業を理解する～
3カ月目	5日目	【講義】TIE基本の姿8項目 ～基本的な改善手法を理解する～
	6日目	【講義】作業改善(1)① ～目指すべき最適な作業を考える～
4カ月目	7日目	【講義】作業改善(1)② 動作経済の原則 ～現状作業のムダを認識する～
	8日目	【講義】作業改善(2)① ～ムダを改善する手法を考える～
5カ月目	9日目	【講義】作業改善(2)② ～ムダを改善する手法を考える～

④参加者の声

～WEB講習だけでなく、実践的なワークショップ等を受けた形の講習にしてもらえるよ。

～参加人数が多く、質問や意見がしやすいと感じた。

～これだけの内容を研修するには期間が短いと感じたので、もっと期間を長くして内容を掘り下げてほしい。

⑤企業の詳細

研修の実施期間や期間を考慮した包括的なプログラムを作成し、それを段階的に学んでもらうことで、対象者の大半を参加させることに成功した。製造工程改善に向けた基礎知識教育として、参加者に学ぶ機会を考えたことができたと思う。

現場指導をしていく上での下地ができ、今後現地での改善活動をしていくには有効な研修であったと考え、現地の目標達成のための具体的な改善手法の構築が容易にできるものと認識する。

オンラインでは知識教育と同様に実習を提供することができないため、実際の現場で実習をしないといけない内容については、今後は現地での指導者を集中して育成し、対象者への教育ができる体制を構築したい。